

令和8年10月1日(木)

【編集】役場プロジェクトチーム

【発行】鮫川村教育委員会

【電話】0247-49-3151

義務教育学校通信

青少年広場で行っていること

今、どのくらい進んでいるの？ その2

今回の義務教育学校通信では、前号に引き続き、現在の進み具合をさらに詳しく見ていきたいと思います。

① 青少年広場の地質調査

義務教育学校には大きく分けて「校舎」と「体育館」の2つの建物があります。合計10本のボーリングなどによって地盤の固さなどを調べて、校舎と体育館をどのような形で配置すればよいか、またはどの程度の重さであれば建てられるかなどを調査、検討しています。

② 村道青少年広場線の拡張計画

青少年広場線は急カーブがある上に道幅が狭く、このままでは通学路として心配があります。そこで、県道から青少年広場までは約1m程度道幅を広げることを計画しています。

③ 北側法面の測量設計

北側法面は今のままでは土砂災害警戒区域になってしまうため、山を切るための測量設計を行っています。



ボーリング調査の様子



切土予定の北側法面

青少年広場に代わる運動場はあるの？

青少年広場はこれまで村民だけではなく、村外の方も利用できる野外体育施設として活躍してきました。野球やソフトボール、ふくしま駅伝の練習、最近では学法石川高校女子野球部の練習場として重宝されてきた場所です。これからもこれらの活動は続いていくため、運動場をなくすわけにはいきません。

村としては青少年広場と同じくらいの規模の野外体育施設を、現在の旧修明高校鮫川校（以下、「旧鮫川校」）跡地に整備する計画を進めています。

また、野外体育施設を使用できない期間がないように、令和9年度には旧鮫川校跡地を整備し、令和9年度までは青少年広場、令和10年度以降は旧鮫川校跡地を使用できるようにする計画で進めています。

鮫中PTA会長のお話

「みんなでアップグレードしていきましょう」
鮫川中学校PTA会長
芳賀 正樹



自然体で未来を見据える芳賀会長

私は4人の子どもがおり、そのうち3人が鮫川小学校、鮫川中学校を卒業し、末っ子は現在中学3年生です。振り返れば、約20年間、鮫川小学校・中学校にお世話になりました。今年には私にとって最後の義務教育でのPTA活動となります。

子どもたちの数が減少する中、小中学校の統合は、これからの鮫川村にとって必要なことだと思います。一方で、長年親しんだ学校が変わることへの寂しさや不安もあります。私は路線バスの運転手として、小中学生の利用を身近に感じています。子どもたちの減少を肌で感じることもあります。

また9年間を同じ校舎、同じ仲間と過ごす中で、いじめや不登校などへの対応、先生方の負担、PTA組織の変化など、課題もあると思います。だからこそ、子どもたちが安心して学べる環境を最優先に、先生方の職場環境も含め、みんなで支えていくことが大切です。

地域の交流の場として学校を活用するなど、可能性も広がります。課題はありますが、長い目で見れば期待も大きく、伸びしろしかないと思っています。子どもたちの未来のために、みんなで一緒に「アッパデート」していきましょう。

重責を担う小中学校の会長のご意見をいただけただことは我々としても大変ありがたいことです。

鮫川小学校会長の金澤剛士さん、鮫川中学校会長の芳賀正樹さん、本当にありがとうございました。



どんな体育館になるのかな？

義務教育学校の体育館は約1200平方メートルを予定しています。今の小学校体育館と比べると約2倍、今の中学校体育館と比べると約2割増しの大きさになります。

運動スペースは中学校と同じくらいですが、今の中学校にはない更衣室や屋内トイレを作ること、より快適に体育の授業や部活動、行事などを行うことができるようになります。

エアコン、更衣室、
屋内トイレ付！

小学校
655 m²

中学校
1,008 m²

義務
教育
学校
1,200 m²

体育館の大きさのイメージ図

また、新しい体育館には空調設備も付ける予定です。ここ数年の気温を振り返ってみると、「酷暑日」という言葉に代表されるように、異常な暑さが目立ちます。全国の学校でも熱中症による不幸な事故が相次ぎ、その対策には一刻の猶予も許されません。児童・生徒の安心・安全を何より最優先に考え、そのような部分にはしっかりとお金をかけていきたいと考えています。

子どもたちの意見を もっと聞きたい！

第2号発行後に、もっと小中学生の意見を聞きたいというご意見がありましたので、6月に行ったアンケートから印象的な意見を追加で紹介します。

○小学生と中学生が一緒に学ぶことで仲が深まると思います。きれいな校舎をみんなが期待しています。

○義務教育学校に変わることにより小学生・中学生の交流が増え、よりよい村の活動につながると思うのでとても楽しみです。鮫川村の新たな魅力の一つとなっていくことを期待しています。

○子供が減っていても中学生、小学生が集まって人数が増えて活気がある学校になると思います。

○義務教育学校が建設されることを通して村の人口が増えることを期待します。

○今よりももっとみんなが楽しそうにできる場所があるといいなと思う。みんなで集まれる、集まる場所が増えることが嬉しいな。

最後に

6月に二度開催した住民説明会では、厳しくも意義のある質問や要望がたくさん出されました。村民の方々に他人事ではなく自分事として考えていただいていることに心より感謝します。

今後はより多くの方が手軽に質問、要望などをできるように、義務教育学校に係る質問等専用サイトを村ホームページ内に作成しました。左の二次元コードを読み込んでいただき、是非皆さんのご意見をお聞かせください！



ご意見などはこちらへ

編集後記

小中学生アンケートは、「うれしい・楽しみ」という声が多く、満ち溢れた期待感に癒えたい思いがますます膨らみました。子どもたちの想いを「かたち」にするための学び舎をとともに考えていきます。